

元戦車中隊長の模型部屋

第14回

皆さんこんにちは！GWはどう過ごされましたか？私は朝ランニングに始まり、洗濯、掃除、料理にプラモと、不要な外出を控え娘たちと自宅にこもっていましたが、ある意味、例年以上に規則正しい模型ライフを送っていました。

さて、今年は新型コロナウイルスの影響で自衛隊のイベントがことごとく中止となっていますが、全国の自衛隊地方協力本部ではいつでも自衛官を募集中です。公務員を目指している方、日本の平和と安全に貢献したい方は是非お近くの募集事務所までご連絡ください！・・・おっと、募集班長時代の悪い癖が出てしまいましたが、今回ご紹介するのは・・・



「化学防護車」

キットはピットロード製で、以前はレジンキャストキットで発売されていたものをインジェクションキットとして発売したものです。以前、所長の模型部屋、募集班長の模型部屋で紹介した87式偵察警戒車や82式指揮通信車がそのレジンキャストキットです。

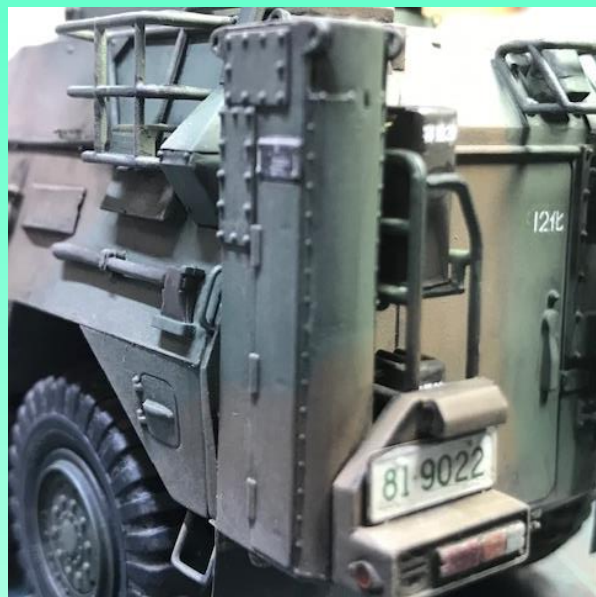
戦闘車両じゃないし特別な思い出はなく、いつか購入しようぐらいで思っていたら店頭で見かけなくなり絶版キットに！焦って探すも時すでに遅し。で、秋葉原の模型店に行ったら・・・あ、あったあ！！迷わず購入！あまりの嬉しさから前回紹介したMLRSと一緒に同時に作る大人買いならぬ大人作りをしてしまいました。



キットはストレート組みで、特に手は加えていません・・・というより、元々レジンキャストキットだったので部品の合せが悪かったり、取り付け位置を修正したりとなかなか骨の折れる工作力を必要としました。



車体は82式指揮通信車を流用しているので似ていますが、特徴的な違いはこの化学剤で汚染された土壌を採取する「マニピレーター」です。キットも複雑な形状をよく再現しています。



表示用の旗が入っている旗箱、その横に燃料携行缶が装着されています。止めバンドはマスキングテープをカーキ色で塗装して、細く切って使用しています。布でできたバンドの表現にはこの手法をよく使っています。



重機関銃手の乗員ですが、実際は汚染された中でもハッチを閉めて射撃ができるようにリモコンで操作するそうです。迷彩服は自分が着ている迷彩服を目の前に掛けて、それを見ながら塗りました（笑）イメージは合っているかなと。重機関銃はGS1クレオスのメタルカラー「ダークアイアン」を塗って磨いて表現してます。



塗装にはタミヤラッカーペイントを使用。タイヤはフラットブラックで塗った後にウェザリングステックを水に溶かして塗り、指でこすり落として使用感を出しています。



操縦席に座る操縦手と車長です。ハッチは可動です。ほとんど内部は見えなくなるのですが、やはり隊員を乗せると模型にも「動き」が出ますよね！しかし、隊員の迷彩服の塗装こそ最大の難関・・・（笑）



全体的にウェザリングは控えめにしました。とはいえ、土埃が上から下に、乗員が乗り降りするハッチ周辺を重点に泥を付着させてます。



左より87式偵察警戒車、化学防護車、82式指揮通信車、ファミリー車両を並べてその違いを見て楽しむ(笑) これでこのシリーズが全て揃いました。



化学テロ現場に向かう化学防護車と軽装甲機動車を並べて妄想に耽る・・・さて、今回はここまで。また次回お会いしましょう!